

みんなのでつくる持続可能なまち

■協働のまちづくり支援金
(2億5,000万円)

■久々野支所建設基本設計
(1,000万円)

予算決算特別委員会

3月18日～20日の3日間、予算決算特別委員会において平成27年度の一般会計を始めとする予算案件10件が付託され審査を行いました。主な質疑は次の通りです。

総務費

■閩協働のまちづくりに対する市の支援は、また支援金の執行は柔軟に対応できるのか。
 答 計画作成や予算作成については、市も手引書の配布や、各協議会に担当者を配置して活動を支援する。支援金の執行については流用等も含め柔軟に対応していく。

■閩CATVの整備率は。平成27年度末で幹線は100%整備できる予定である。

■閩東京事務所が開設されるが、どこに設置するのか。また、業務量から見て一人で大丈夫か。

答 都道府県会館の岐阜県東京事務所内に設置する。職員は複数名配置も検討した上で、管理職一人とした。

■閩地籍調査の予算が増額されているが、他地区での実施や、工期の短縮はできないのか。

答 現在実施している地区の早期完成を目指している。また、国にも早くできる方法を検討するよう要望している。

民生費

■閩私立保育園機能強化対策補助金が廃止された理由とその対応は。

答 国の制度改正により公定価格に含まれることになった。対応は来年度以降の状況を見ながら判断したい。

■閩障がい児通所事業(あ

ゆみ学園等)は昨年より予算が増えている。理由は。

答 平成26年度も補正対応したが、新施設が開所し利用者が増えたことによる。県の指定により増床や開設ができるため、今後も事業所等が増えると考えている。

衛生費

■閩不妊治療費助成が充実するようだが、内容の周知や相談窓口は。

答 人工授精など保険対象外の治療も対象とする。周知については、市内医療機関へのチラシの配布や、広報・FMなどを活用する。市の相談窓口は健康推進課で行う。

■閩ごみ焼却処理事業費の減額要因は。

答 飛騨市でのごみ処理を行なわなくなったため負担金が減少した。

農林水産業費

■閩鳥獣被害防止柵設置に対する助成は雪害により破損した柵も対象

となるのか。
 答 新規の設置のみである。

■閩雪害によるものは、今後被害状況を確認し対応策を検討したい。

■閩全日本ホルスタイン共進会への取り組みは。

答 平成27年度は北海道で開催される。遠隔地でもあることから畜産振興会も支援することとなっている。市の予算としては出品奨励金として52万円を計上している。

商工費

■閩シルバー人材センターに2,010万円の助成金がついているが、事業拡大が民業圧迫とならない程度にするべきと考えるが。

答 そのような事例がある場合には、シルバー人材センターと協議し指導していききたいと考えている。

■閩観光協会等助成事業費の増額要因は。

答 これまで地域振興特別予算にて対応してい

た観光イベントの一部を精査し、予算化したため増額となった。

土木費

■閩道路防災点検事業の内容は。

答 来年度は橋梁の点検で、委託で70橋、直営で106橋を実施する。点検は国の基準に従い近接目視と打音検査で行う。

■閩除雪機を市が直接購入するようだがその内容。

答 業者の負担を軽減するため市が購入し、リースしたいと考えている。

■閩古い町並界限における車両進入制限社会実験はどのように進めるのか。

答 現在地元住民と協議中である。平成27年度は協議会を立ち上げ、地元同意を得た時点で計画を策定したい。

消防費

■閩消防団を退団した人数と入団した人数は。

答 退団者は70名、入団

者は50名である。
 ■閩団員数が減少しているが、その要因は。

答 入団希望者がいても、家族の理解が得られないことも理由の一つとなっている。

■閩防災エキスパートと自主防災組織の関係は。

答 防災エキスパートは消防団OBなどに積極的に参加していただき、自主防災組織を推進する人材になっていただきたいと考えている。

教育費

■閩支援の必要な児童等の個別指導、悩みをもつ児童等の心のケアとは。

答 三重県で行われているCLM(発達障がいなどに対する個別の指導計画)という手法を研修し、支援が必要な子どもに切れ目のない支援をする。

■閩学校におけるトイレの洋式化の整備状況は。

答 平成27年度末で、洋式化は54%となる、全ての学校に整備される。